

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日時】平成24年4月26日（木）午後6時30分～21時00分
 【会場】西地区コミュニティセンター
 【対象地域】西町、桂木町、新富町、北斗町、学田二区、清水山、島ノ下
 【出席者】59人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
<p>経済部・保健福祉部</p>	<p>子どもを保育所に預けている親です。 まず場所の選定について、請願が通り一旦白紙になった後に、3カ所を選んで、東4条街区が一番の選定候補になりました。もちろん、中央・麻町保育所がダメだったという理由もありますが、その中で東4条街区が一番の候補となったという理由を教えてください。また、検討したのであれば、どうしてダメだったのかという理由も教えてください。中央・麻町保育所の場所の方が交通面や防犯面、いろいろ考えた中で安全であるという私の意見です。親としては、中央・麻町の方が安全であると考えてるのは明らかだと思います。移転するとなると、地権者との話し合いなどの困難もあるし、リスクの多いところにわざわざ移す必要があるのかと思います。例えば、運動会だとか練習に行くために移動する場合、250mは近いと言いますが、2歳、3歳では250mというのは非常に遠いです。保育所の先生方が引率して連れていきますが、みんなが言うことを聞く子どもじゃないです。一人で走り出す子どももいますので、全員を安全に連れて行くというのは非常大変なことだと思います。そういうリスクが多い場所だと思います。親としては、少しでもリスクの少ない場所に保育所を置いて欲しいというのがやはり心情です。そんな心配なところにわざわざ移さなくても良いという思いが非常にあります。送迎の公平性ということで、両保育所の中間にある東4条街区が非常に便利と言いますが、富良野はみなさん</p>	<p>【市長】なぜ中心市街地に保育所をもってきたのかというのは、富良野市の中心市街地活性化基本計画を立てるとき、保育所のことだけを考えてみても、建設するという事は安全面も当然考えています。何十年も保育行政を行っていますので、そういう面を充分踏まえた上で、中心市街地の活性化と合わせて建設するのが市の考え方です。 交通面の問題についても、公安委員会とこれから暫時詰めていきます。 それぞれお母さんたちの方から必ず出ています環境問題ということで、ずいぶんお話がありました。排気ガスが大変で、住んでいる方も病気になったという方もいるというお話も聞きました。この関係については、麻町と中央、仮に建てる予定の場所についても環境調査をします。調査は140万かかりますが、10日以上精査をして実証し、原因がどこにあるのかということを実証しなければなりません。幸町に住んでいる方がみんなそういう状況で、病気になっている原因だというような話をされたお母さんがいます。これは大変なことなので、140万かけて5月の中旬くらいまでに委託をして調査をすることにしました。 環境面だとか交通安全の問題だとか、その場所に付随する問題については、責任を持ってやらなければいけないということをまず理解してもらいたい。 運動場の関係ですが、富良野小学校まで、0歳、1歳、2歳に</p>

車で送迎していると思います。もちろん、徒歩で送迎している方もいると思いますが、例えば、仕事へ行く時に、5分や10分遠くても少しでも安全な場所で子どもを見てもらいたいと保護者は思います。保護者の中で、「麻町保育所の場所になったとしても、東4条街区に行くよりは良いよね」と言う話をしています。もちろん、私の周りだけかもしれませんが。他に賛成している方もいるかもしれませんが、そういった（両保育所の中間に持って行く）公平性というのがアピールされているようなので、それはそこまでではないんじゃないのかなという思いがあります。

以前の説明会で、近隣の高齢者と交流を持つというお話をしていたと思います。近隣の高齢者や近くにある介護付き老人ホームの方と交流をするという話をしていましたが、介護施設に入っている方だけでなく、近隣の高齢者も自由に入ることができるという話をしていました。その話について、安全・安心面でどうなのかなという部分が非常にあります。例えば、総合こども園というのが実際に設立されたとなれば、教育をしていくプログラムが今よりももっと増えていくということになると思いますが、自由に入れるとなると、プログラムの邪魔になるのではないかな。例えば、決まった日に毎週何曜日だとか月にいつだとか決めて入れるものなのか、本当にいつでも入れるものなのか。いつでも入れるということになると、安全面で本当にどうなのかという疑問があり、どうお考えなのかを教えてくださいたいと思います。

歩いて移動することは保育士さんが付いていてもできませんので、別な手段で運んでいただくような形になります。4歳から6歳については、自分で自覚できる範囲の園児をそれぞれ保育士さんが責任を持って連れて行きます。仮に建設場所が中心市街地に決まった場合は、小学校の運動場で伸び伸び運動会をしていただくというのが行政の考えです。

お年寄りが常時入ってきて危険性があるというお話ですが、富良野市で入院、または老人ホームに入所されている方を含め、高齢の単身世帯で800くらいの方が生活し、市街地には200人くらいが住んでいると聞いています。お年寄りが一人で生活をするということは、いろんな形で、地域で支え合っていかなければ本当に大変です。そういう人の一つの癒しの場にもなります。例えば、仮に保育所を建てた場合に、自由に出入りすると言いましたが、当然寝ている時に来てくださいということにはなりません。時間帯の設定をしながら、子どもと接していただき、その中から子どもが学ぶものというのはかなりあると思います。今のお父さんやお母さんは、核家族の中で育ってきたと思います。昔はお年寄りと一緒に同居していた生活の中で、多くの知恵というものをいただいて育ってきました。でも、それが今は少し足りないと思いますので、お年寄りにいろいろ教えてもらい、保育士さんも教えてもらう。色んな形で昔取った杵柄の状況づくりを少しずつも教えてもらい、お年寄りは子どもから癒しをもらう。これから人口が減少していき、若者がいなくなる状況になっていきますので、市民をあげてみんなで生活形態を作って、こどもを育てていくことがこれから必要だと思います。今、お母さんからのご質問について、十分に考えながら行っていかなければならないと思います。しかし、安全面が足りないなどのお話をたくさん今までの会場で聞いてきました。その安全面をどのようにすれば解決

<p>保健福祉部</p>	<p>A・B・Cの候補地以外のどこを検討したんですか。</p>	<p>できるかということで、一つの意見交換会が終わるたびに、行政として協議させていただいています。</p> <p>過日、担当を含めて昨年できた土別の保育所に行ってきました。富良野が今計画している内容と比べて、面積も小さいですし、国道、道道が走っているところに隣接するような形で、市街の中心街に土別市の保育所はあります。そういう土別市の状況もありますが、富良野としては条件的にまだ土別市のような形ではないと感じています。そういう時代の流れとともに、一つの箱の中で時間を過ごさせるということにはならない時代になってきたと感じています。お母さんのご心配の問題については、これからも十分精査をしながら、できるだけ期待に応えられるような状況づくりをしていく必要があると考えています。</p> <p>【副市長】市長の説明の中に、環境調査という話が出てきたと思いますが、この環境調査は、身体に疾患のある方がずいぶんいるというお話しがあったので、本当に環境が悪いのかどうかということで、建てる、建てないに関わらず調査させていただくということでご理解をいただきたいと思います。</p> <p>【市長】公共施設というよりも、他の土地を購入するということは、それにとまってお金がかかりますので、第一段階として、現在建っている場所との比較をさせていただいたというのが考え方の一つです。</p> <p>例えば、父兄のみなさんが候補地を市街地のどこにするような感じをお持ちになっているかわかりませんので、当然、行政として選定する場所については、説明している土地や範囲の中での選定であるということでご理解していただきたい。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>例えば、市がすでに持っている土地の利用は考えましたか。利</p>	<p>【市長】公園は、それぞれの機関の決定を受けて公園は作られて</p>

<p>保健福祉部</p>	<p>用率の低い公園や空き地など、そういったところの検討はまったくないですか。費用が高いということであれば、すでに持っているところを利用してはと思いますが。</p> <p>この建設予定地の変更というのはありますか？</p>	<p>います。子どもが遊んでいるとか遊んでいる、いないに関係なく、一つの集落があって、そこに公園を建てるというのは都市計画の法律の中で面積要件を含め決められています。ですから、遊んでいる子どもがいなくても壊すことはできません。</p> <p>また、災害の緊急避難場所としても、当然活用しなければならないということです。</p> <p>【市長】例えば、未来の会の方から請願が議会に出されました。現実的な要望の中で、それぞれ保護者の父兄の方々との1回目の話し合いを終わらせていただきました。ずいぶん時間をかけて、論議させていただいたというつもりですが、それぞれの各界、各層からのみなさんの意見を聞いて、最終的な判断をするのは、執行者の市長ということになるのかと思います。もちろん、議会の同意が必要になりますので、そういう経緯を踏みながら、そういう形の中で決定をされるということになります。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>老人福祉のそういう施設を作られるということで、総合こども園の子どもたちとどのような交流をするのか具体的な内容というのは考えていますか？お店や商工会の方たちとのお店での交流というものはどのような形を考えているのか？</p> <p>保護者は、みなさん就労している方たちです。朝早く出かけて夜遅くお迎えに来るといの方が大半です。自分たちの生活のなかで、朝も忙しい夜も忙しい、子どもを迎えに行ってお飯の支度をしなければなりません。その中で、計画をしている街の中の活性化というのは、保護者の方たちの中にはあまり使われない言葉じゃないのかなと思います。お店があまりないですし、迎えに来て買い物をする人は、あまりいないと思います。</p> <p>あと、保育所と幼稚園というのはちょっと違う形で、保育所は</p>	<p>【市長】今、活性化と保育所は関係ないのではないかというお話がありました。父兄の方からも「私は幼稚園に迎えに行っても買い物はしませんよ」というご意見がたくさん出ました。また先日、東5条商店会のみなさんとお話しをしたときに、こういう意見がありました。商店街の人は、買い物をしてほしいということよりも、にぎわいの創設をしてほしいという考え方です。事業の継承の見込みが立たない方が70%になる状況で、考えているのは、中小企業の振興策の見直しを行い、古い人でも新しく変えられるような補助制度を今作ろうとしています。例えば、家賃の助成、改修費の助成、金利の負担。こういうことを行い、古い人を新しい人に変えたり、富良野市内ばかりでなく、他からも来ていただけるような状況づくりをあわせて行いたいというのが市の考え</p>

子どもを親の代わりに育てていくところなのはみなさんご存知だと思います。1日の流れのカリキュラムというのがあり、食事や自由遊びなどがあります。また、設定の中で勉強的なこととして、書いたり作ったりすることもあります。街の中でそのような形で保育するのは、そこにいる子どもたちは、すごく大変だと思います。夏場など窓を開けばなしにしていると、昼寝の時に結構騒音とかで眠れない状態なんかも出てくると思います。子どもの育つ中で、集中力の無い子どもたちも出てくると思います。もう少し広い場所で、もっと良い環境の中で、富良野は良いところがたくさんありますので、そこをもう少し考えていただきたいと思うのですが。

方です。ですから、活性化をするために保育所を建てるという考え方が全面的にあるというわけではないということを理解していただきたいと思います。にぎわいを多くするということは、人の数を多くするということがにぎわいです。買い物をしないというのであれば買い物しなくても良いです。街の人は、買ってくれる工夫をします。にぎわいが出てくるということになれば、商売をしている人は、自分の生活のためには何をすれば買ってもらえるような状況づくりができるかということを考えると思います。

それから、窓を開けたら寝られないというお話ですが、この地域の騒音は55デシベルということで、中央保育所の状況と同じです。調査の結果、そういう結果が出ていますので、騒音での問題は無いと思っています。

【こども未来課長】老人ホームの高齢者、また商店街のみなさんとの交流をどのように考えているとの質問について、老人ホームの高齢者のみなさんとは、例えばですが、総合こども園の子どもたちが、運動会、また発表会などに来てもらったり、逆に行ったりというような形で、子どもたちと高齢者がふれあう機会をひとつのきっかけとして作ります。また、商店街のみなさんとの交流については、5条通り商店街では、例えば、春に花壇作り、また秋にはハロウィン祭り、冬にはイルミネーション装飾ということで四季折々のさまざまなイベントなども行っています。こうしたことをきっかけとして、お互いに交流を深めることも地域の活力になると考えます。また、商店街のみなさんを例えば講師として、パンやカレー作りなど講師として迎えることもあります。これはあくまでも一つの例ですが。大切なことは、保育所の所長さんや保育士さんと高齢者のみなさん、または商店街のみなさんと一緒に考え話し合っ、ともに考えともに成長していく。できることを一つひとつどのようにして活力や交流を図っていくかを考え

<p>保健福祉部</p>	<p>説明はとってもすばらしく、そうだなって本当に思います。ただ、子どもたちを少し見てきた経験もありますので、お話しさせていただきます。</p> <p>これからの富良野の将来を見据えて考えるのであれば、高齢化社会のお年寄りの多い中で、子どもたちを伸び伸びと広い場所で心豊かに育てていくため、お年寄りを見ていかなければならないという子どもたちを育てていくために、心豊かな子どもたちを育てなければなりませんと思います。狭い場所（でもあり）、中央保育所と同じ騒音だと言われても、信号機の音や車の走る台数の多さとか、そういうことを考えると、きっと子どもにはマイナスじゃないかなと私は思います。</p>	<p>て、一つひとつ取り組んでいくことが良いのでないかと考えています。</p> <p>それと先ほど午睡の問題もありました。いろいろとお父さんお母さんから懸念されていることもあります。そうした中で、東5条通に面さないところは、商業店舗になりますが、こちらの駐車場の部分に隣接するところも、なるべくそうした午睡をするような保育室とか乳児室とかを設置しないようにし、例えば職員室ですとか会議室でとかそういう形で、少しでもこうした懸念を払拭するために遮音するような措置を考えられないか検討しています。</p> <p>【市長】狭いと言いますが、1770㎡なのでとても広いですよ。今、中央保育所が655㎡、麻町保育所が683㎡、計画しているところは2階建てで1770㎡ありますので、すごく広いです。ただ、園庭は約600㎡で、2階の屋上に800㎡取れますから、1400㎡くらいになります。そこにこれから何を置くか、何をするかというのはこれからの問題であって、園庭は1400㎡を確保することができるということです。新しく建てるという状況になれば、狭いということにはなりません。</p> <p>車の音の問題ですが、東4条通側ではなく、今の東4条通仲通側の方に面を向けますので、騒音については全くとは言いませんが、ほとんど問題はない状況です。また、防音の関係もそういう状況になれば、防音できるものを付けることもできますし、充分精査をしながら進めていく必要があるのかなと思います。</p> <p>子どもたちを見てきた経験でお話されていると思いますので、そういう意見というものを充分聞き、胸にきちんと受け止めて対応するよう考えていく必要があると思います。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>2階建てを計画しているということですので、敷地面積が広く</p>	<p>【こども未来課長】富良野市でも、障がいの疑いや障がいを持っ</p>

経済部・
保健福祉部

なりますが、先ほどの（話の）中富良野町の保育所のような形で階段を作られると思います。富良野市の保育所は統合保育もしていますので、精神に障がいの持っている方などそういう方のことも考えると、どのような形で2階へ移動したりするのでしょうか？

先ほど市長がにぎわいとは人通りがあることとお話していました。にぎわいを求めるならば、その場所に保育所じゃなくても良いのではないのでしょうか？例えば、子どもが集まる子育て支援センターや一人暮らしのお年寄りも多いと聞いたので、お年寄りたちもきっと1人で暮らしていると、1日にまったく言葉を交わさない人もいます。きっと、寂しく暮らしている方もいます。そういう方たちの集まれるような施設があると、みんなが顔見知りになるというか。そのような施設を作った方がより多く、いろんな世代、小さい子からお年寄りまで集まるような場所を作れるのではないのでしょうか？

ているお子さんの統合保育を行っています。総合こども園の保育でも継続して行っていきますが、階段と併設してエレベーターの設置を考えています。

【市長】私は否定もしませんし、当然そういう考え方があると思います。

今、富良野市の状況ですね、富良野に生まれて育ったかどうかわかりませんが、地域ごとにコミュニティセンターというものを建てています。学校に行く場合の学童保育というものが放課後行われています。また、児童館というものを地域に建てています。お年寄りの方以外に、そういうコミュニティ会館を利用して、地域でそういう催しものを実施していただいています。

お話しているにぎわいというのは、昔からお祭りだとかそういう催しを中心街で行う。今は本通で出店を出していますが、そういうにぎわいをお年寄りの方に味わってもらおうというのは年に何回かしかありません。ですから、そういうにぎわいの中にお年寄りも来てもらう。また、今現在、駅前のふらっとというところがありますが、かなりお年寄りに来ていただいて、お弁当を持って朝から夕方までいる方も結構いますので、いろいろお年寄りが選択できる状況も考えて良いのではないかと考えています。にぎわいというのは、ご質問で言っているのも当然あるでしょう。しかし、お年寄りというのは毎日そういう状況ではないので、市街地の近辺のお年寄りに対して、そういうことが必要ではないかというお話をしています。だいたい200人のお年寄りが近隣に住んでいますので、その人たちが買い物に来たとか、子どもとのふれあいをしてみたいとか、息抜きをするために行きたいとか。そ

ういうお年寄りを対象にすることも大事なことはないかと思
います。

保育所だけが子育てと考えておりません。0歳から18歳まで
を子育て支援という形を取るの正しいのではないかと考えて
います。今、富良野の場合は、協会病院に産婦人科に2名、小児
科に3名のお医者さんがいます。同じ規模の道内の病院で、産婦
人科医2名、小児科医3名いる病院はほとんどありません。それ
ぐらい生まれる状況において、安全で安心して産める場所とい
うのが協会病院の産婦人科医で2名体制になっているという状況
になっています。また、これから建設予定のこども園に移るまで
の状況の中に、お母さんたちが乳を飲ませる期間が終わるまで
は、家庭の中で育てていただくということも大事なことだと思
います。そういう順序を踏んで学校教育に入っていきます。家庭教
育の中で、お父さんやお母さんが一生懸命働きますので、その補
完するのが今までの保育所です。今度はこども園になると、内容
は変わりますが、こども園も今まで同様、保育所という位置づけ
を継続しながら進めていきたいというのが行政の考え方です。学
校へ入ったら今度は学校教育です。先ほどもお話ししましたが、児
童館や学童センターは、3年生までは保育所と同じです。お父さ
んお母さんが働きに行っている間は学童センターで遊んでもら
うという形をそれぞれ地域によって作っていただいています。ま
た、中学に行くと、それ相当のいじめの問題だとかがたくさんあ
ります。それにはやはり機関を通して、一生懸命お母さんたちの
できない部分をそれぞれの立場で補完をしていただいております。
それが0歳から18歳の高校を卒業するまでが子育て支援の
大きな役割になっていくのではないかと思います。それが行政の
責任で行っていく状況がこれからはもっと出てくると感じてい
ます。

経済部・ 保健福祉部	他に集客やにぎわいのある施設として、こども園以外の案はなかったのでしょうか？	【市長】まちづくり会社が基本計画にもとづいて整備計画を立てました。その中で、まちづくり会社はアトリウムも提示してきました。市の機関としてアトリウムをやってくださいという提示でした。市は考えて充分検討しました。しかし、それは予算的に10億以上かかります。アトリウムを作って、10億をかけて本当に市民の方々がそれだけのお金を投じて、効果があるのかないのか、そういうことも行政として判断しなければなりませんし、議会も選択したこの事業が本当にいいのか、この事業は本当にダメなのか、そういうことを議会で論議をこれからしていただきます。行政としては、こども園をここに設置することが、これからの富良野の10年、15年後において、街のにぎわいが、できるだけならないような状況づくりを、これからさらにあわせていろいろなことをやっていかなければならないという観点で、お答えを申し上げたということです。
保健福祉部	<p>ちょっと今お話しを聞いていて非常に重要なお話しですし、お子さんを持っている方にしてみれば、例えば、場所が変わる、経路が変わる、子どもの環境が変わるということは非常に大変なことなんだろうということは充分理解できます。ただ、今のお話しの中でちょっと気になっている部分だけ、お話しだけさせていただきます。</p> <p>子どもをどこの場所であっても、育てていくことになれば、市長も言っていました、やはり地域だとか、近隣の人たちとの関わりが非常に重要だと思います。今日、町内会長も来ていますが、自主防災組織を町内会で作ろうという打ち合わせに入っています。その当事者は誰になるんだということになれば、それはやはり、お年寄りだろうっていう話にはなっています。四六時中い</p>	

るという前提ですが、私たちの地域の中には学童保育センターもあります。運営委員会も持っていますが、残念ながらセンターの方からは、「こういうことを地域で何かあったときにはお願いします」というような打ち合わせは残念ながらまだありません。今回の震災もありましたが、何があるか分かりません。当然、そこで指導に当たっている先生だけでは間に合う話ではないです。

そういうことを考えていけば、場所の問題も確かに重要ですが、今回、提案があった街区に関しては、商店街という昼間必ず常時いる方も地域の中にあります。居住するゾーンもあるということで、日中の部分については、保母さんも大変かもしれませんけれども、やはり町内会または商店街のみなさんとどのように連携をしていくのかという、一番子どもを（育てる上で）大事にしないとならないところです。どう付き合っていくかというところが、実は私たちが学童のそばにいるときに、残念ながら地域の人たちが無視されているのではないのかなということをお話だけしておきたいなと思います。

それともうひとつ、この懇談会も含め、同じ話があちこちでされているということで、それは親御さんは大変だと思います。それで行政も親御さんや関係者との話し合いをきちんとしていくということをお願いをしたいと思います。答えはいいです。

街で建てられるイメージ図などを拝見しましたが、実際のところ地権者との話し合いはどの程度、どういう形で進んでいるのでしょうか？

私が実際に聞いた話の中で、その場所に住んでいる人で「動く気はない」ですとか、「説明を受けていない」という声も聞いていますので、お答えできる範囲で構いませんので、その辺はどうなんでしょうか？

経済部

【中心街整備推進課長】地権者の関係ですけれども、まちづくり会社の方では地権者と今交渉を行い、大方の人の同意は得ています。例えば、相続関係で、まだ相続に至らない人だとか、そういう方はいますが、基本的にこの事業は、全員同意型の事業です。全員の同意を得て事業を進める形をとっていますので、今後も同意をいただけない方については同意をいただくという形で進めていくことになると思います。

経済部	<p>そうしましたら、このイメージ図通りに100%上手くいくという保障はないという形になっているかと思えます。そうすると、市で説明をされている駐車場の確保とか、こども園の周辺で建てようと思われていることが、上手くいかなくなる可能性も今の段階では秘めていると聞こえるんですけど。</p>	<p>【中心街整備推進課長】事業を進めるわけですから、どこからその事業ができないようなイメージで言われているような感じがしますが、あくまでも、これはまちづくり会社が行う事業です。最終的には、このようなイメージの形になっていくと考えています。中には、本当に同意いただけない方がいるかもしれません。あくまで「かも」としか言えませんが、そういう方に対しても、事業を終了するまでに、同意をいただけるように進めていくという形です。イメージ図ですが、計画自体はまちづくり会社が進める部分で、その計画に沿った形で事業が進められてイメージ図通りになっていくというような形をとるということです。</p> <p>【副市長】他のところでもお母さんたちから同じような質問がありました。店子（たなこ）さんの関係でそんな話があったということでも言われていました。店子さんというのは借りている方です。その一部の人が、「全然話を聞いていない」という方がいたという話は聞いていますが、基本的に経済産業省の方で事業認可を受けなければなりませんから、計画がどうなるかというのが確定しないと進んでいかない事業ですので、その点をご理解いただきたいと思えます。</p>
経済部・保健福祉部	<p>示されている3カ所の案の関係について、それぞれ若いお母さん方が大変心配しながら質問されていると思えます。私は別な方向からお伺いしたいと思えます。</p> <p>保育所あるいはこども園を作るということは、補助金に関係しているのですか？もし補助金に関係しているとすれば、示された案以外の場所に持って行って、その補助金が使えるのかどうか？もし、使えないとしたら、今みなさん心配しているように、保育園の補助金が出るまで我慢するのか、または今のこの状況の中に</p>	<p>【中心街整備推進課長】補助金の関係ですが、この事業に乗せて進めた場合、例えば設計をする費用だとか、そういう部分の補助金が出る予定です。総合こども園を別な場所で建てた場合どうなるかと言うと、別な場所では補助金というのは一切ありません。すべて市の単費で行うこととなります。</p>

<p>経済部・保健福祉部</p>	<p>入って金の流れも作ってもらった方が良いのか、どのようにする考えているのか、ちょっと気にかかるところなので説明をお願いします。</p> <p>市自体ではそのものを作るだけの予算はないということですよ？例えば、補助金が付かなくて別な場所で建てるとなったら、補助金が出ない中で、市の予算だけで建つ場合もあるんですか？</p>	<p>【市長】今、降って湧いた計画ではありません。第5次総合計画の中で、10年計画の前期5カ年で、麻町と中央保育所の一元化について、再編整備ということで、議会で議決をしています。それにもとづいて基本計画を立てて、そして今現在に至っている。まちづくりの中では、まちづくり株式会社が、その整備計画を民間の活用ということで市街地の活性化を行うということです。それに行政が、アトリウムの上に総合こども園（の計画）を入れたということです。補助事業の関係ですが、保育所関係とこども園の関係は、現在の段階では補助事業はありません。これは全部、市単独の一般財源という形で実施する状況になっています。</p> <p>【副市長】今の中で、「予定はある」ということですので、それでお答えになっているという気がいたしますがよろしいでしょうか。</p>
<p>経済部</p>	<p>別の場所だと補助金は一切出ませんということですが、ネーブルタウンの中に限るのですか。それともこの中心街活性化基本計画の中であれば、どこでも良いということですか。資料に載っている計画の範囲でないといけないということですか？</p>	<p>【中心街整備推進課長】中心市街地活性化基本計画の77ヘクタールというのは、事業を進めていく区域です。77ヘクタールの中で実施しても補助金は出ません。東4条街区の市街地再開発事業を実施することによって補助金が出てくるという形です。</p>
<p>経済部</p>	<p>だいたいこのネーブルタウンの中じゃないといけないという理解でいいですか？</p>	<p>【中心街整備推進課長】そうです。再開発事業だから補助金が出てくるということです。</p>
<p>経済部</p>	<p>例えば、仮に別の方が提案した通りに、違う福祉施設ができた場合は、その福祉施設に補助金は出ますか？</p>	<p>【中心街整備推進課長】行政施設としての他の建物を建てた場合については、先ほどもお話ししましたが、市街地再開発事業を行う</p>

<p>経済部</p>	<p>例えば、高齢者とのふれあいセンターみたいなものができても、特に補助金に損はなかったという理解で良いですか？</p>	<p>ことによって、設計費は出てくるという形になります。</p> <p>【市長】議会があり、住民合意を取るということは議会の同意も取らなければならないということです。ここで話し合いや意見交換をすることについては、やぶさかではないです。ここで決定するとか決定しないとかいうことではありません。今、ご提案あった中に、保育所以外でも良いのではないかというお話については、ご意見として受け止めておきます。行政としては、ここ（中心市街地）に、この施設が将来を考えても必要であるという考え方です。先ほども言っていたと思いますが、これからの状況は教育です。建物の内容も大事かもしれませんが、少ない子どもをどうやってみんな教育をしていくかということが大事です。こども園の将来というのは、教育を基本とした形のもので行政は考えていき、建物も当然そこには付いてきます。建物を優先するのではなく、基本は教育です。こういうことをみんな理解しながら進めていく必要があるのではないかと考えています。</p>
<p>経済部・保健福祉部</p>	<p>アトリウムは10億円の予算で高すぎるというお話がありました。ちなみに総合こども園はどれくらいの予算になりますか？</p>	<p>【中心街整備推進課長】事業自体の事業認可申請というものを今出していませんので、はっきりとした金額は言えませんが、今のところ概算で計算している金額は約5億2千万円程度と考えています。土地代は、その中には入っていません。</p>
<p>経済部</p>	<p>ワインの関係についてちょっとお伺いしたいと思います。最近、ワインの富良野限定というラベルを付けて、一般のワインを販売していると思います。購買で11年店舗に勤めていたが、わざわざ素晴らしいラベルが付いているのに、それを剥がして少なくとも味の悪いものにイメージダウンさせるようなことをなぜするのか。その辺の考え方を聞きたいと思います。</p>	<p>【経済部長】ワインをご愛飲いただきまして、いろいろご意見をお持ちで非常に参考になると思います。決してイメージを悪くするように行政も行っているわけではなくて、できる限りみなさんにご理解をいただけるようにラベルも作っているつもりです。ただ、そういうご意見があったということは、担当の方も含めて、もう一度協議をさせていただきたいと思いますので、これからも</p>

経済部

なぜこのようなお話をするかと言うと、たまたま母の七回忌の法要にこれ（ワイン）を使おうと思って、42本ほど用意させてもらいました。店舗へ行って「なんでこんなラベルが付いているのか」と私も知らないから聞きました。「こんなものを付けたら、良いものも悪く見えるじゃないか、誰がこんなことを決めたのか」という話をしました。すると「中身はまったく変わっていませんから」という話です。例えば、もらった人に見せると、今まできれいなラベルだったのが「富良野限定」なんて書いてあったら、「何だこれ、質を落としているんじゃないか」と私自身がもらったならそういう感じがすると思います。今あるものを安くして出すのは、私は何も問題ないと思います。ぜひともそういう方向で、考えてもらうことが望ましいと思います。

それと先日、（議会の）傍聴に行ったときに、ある議員がぶどうの栽培の関係で、市長に話しをしていました。市長の答弁では、苗木をサービスするとか、いろいろなことを話していましたが、少なくとも私はもう5年前に、そういうことを考えられなかったのかと、そう考えています。なぜ、私がそう言うのかというと現場が知らないからそういうことを平気でするのではないかと思います。私が11年いたときに、先輩は「業務に携わる人は、一生懸命歩かなきゃダメなんだ。そうでないと仕事は進まないんだぞ」という指導を受けながら、働いてきた経過があります。指示する、しないは別として、部長が一番先に現場に行って、どういう状況なのかということ把握しながら仕事を進めていかないと。今、仮にぶどうの新しい苗を抑えると、恐らく3年くらいダメだと思います。蜂が来る、病気が着く、獲れない。だから、生産者はますます良くなれないということになります。

ご意見ぜひお願いします。

【市長】今のご提案は賛成です。話としては賛成です。

今、古い物を活用しながら新しい物を植えていって、そして3年後には交代をするような育成の仕方をしていきます。今、それぞれ生産者も高齢化が進んできました。新しい物を植えて、さらに収量が上がるような技術指導、収穫時におけるそれぞれの地域にあった獲れ方の状況把握、翌年度にそれらをどう生かしていくかということ、それぞれ職員が、先ほどご指摘されましたが、さらに真剣に取り組んで今年から行います。お話しされたことに対し、富良野のワインというのは質が高いという評価を受けていますから、この質を下げないようにして、少なくとも少しずつ上げるような努力をしながら、全国のワインのファンみなさんに贈っていく。このような形を取りたいと思いますので、貴重なご意見をいただきましたことに感謝を申し上げます。

私の思い違いかもしれませんが、1千万円くらいかけて貯蔵庫を作ったと思います。1千万円もかけるならどうして（商品を）一生懸命売らないのかということを知りたい。生産者にどんどんと払って、生産者の意欲が出るような方法を取っていくべきだと思います。そういうことで、長く続いて行くし、富良野のブランドが長く続いていくという結果につながっていくと思いますから。私なりの考え方で申し訳ありませんが、十分検討していただきたいと思います。

保健福祉部

最後に聞かせてください。今までいろいろなこども園のことを聞いて返答もいただきました。その結果、確認ですが、例えば、補助金が付かなくても、市民の要望が大きくなり、違うところに建ててくださいというときには、今の予定しているところには建てないこともありえるんですか？

【市長】まだ半分くらいしか意見交換会が終わってないので、総合的に判断するというのを冒頭でお話しさせていただきました。ですから、総合的に判断して決めるということになるかと思っています。

それから、少しお話しさせていただきますけれども、請願と署名の中身が少しずれて提案されているという状況があり、今精査させていただいています。例えば、署名の中で、重複しているものが結構あります。ですから正確な数字がどの程度になるのか、そういう数字を精査させていただいています。また、私のところにも結構お電話をいただいています。その中身については、今は申し上げませんが、総合判断の中でしていきたいという感じを持っています。

経済部

ワイン事業の関係で、ソレイユという品種ですが、ワインコンクールに5度入賞しています。それに対して、販売本数が全然なんか伸びていないように聞いています。ワインは良くなったって言いますが、売り上げの方は追いついていないのでは？

【経済部長】ワインコンクールでほぼ毎年のように表彰されていまして、品質はどんどん上がっていると評価を受けています。ただ、今お話しがあったように、銘柄によっては表彰されても意外と（売り上げが）伸びていないというものもあります。ただ、これについては、消費者のみなさんの嗜好でありますので、なるべく販売促進をしっかりとこれからも力を入れていきたいと思いま

経済部	具体的にどのように売らせようと考えていますか。	す。せっかく表彰されたものがありますので、これから伸ばしていくよう力を入れていきたいと思っておりますので、ぜひご愛飲をよろしくお願いします。 【経済部長】もちろん、市内の酒屋さんに行くようなところも力を入れていきますし、旭川市など近郊のセールスを重点的に行っています。また、物産展などの出展も行っていますが、いわゆるマネキンさんというその現場で雇用する人が販売することもありますので、なかなか販売が伸びないということもあります。職員なりがその場所に行って良いものをぜひ勧めるといったようなことも行っていますので、もう少しお待ちください。
経済部	私からちょっと提案させていただきたいのですが。私も購買にいるときは、今のようなご批判をいただきながら、一生懸命やってきました。その中で、ビール麦はサッポロに出しているのですが、サッポロビールから「お前らビールをこれだけ売ってください」と言ったら物が来ます。それが販売でなくて購買に来ます。そこで一番先に販売していくのが職員です。職員にお願いして買ってもらう。したがって、280数人いるので、月に1本ずつ買ってもらうだけでも280数本という収入が入ってくると思います。もちろん部長が5年も6年もそこにいるということではないかもしれませんが、人事異動があまりに短いと「どうせ俺がやらなくても誰かがやるだろう」というような問題があります。そういう売り方もありますので、職員、市長をはじめ、回覧を回して「ワインを1本ずつ協力してください、毎月1本ずつ協力してください」と。そうすれば1年で12本。お金を出すのが面倒であれば「1杯で良い」という方法で販売していくことも、一つの販売で多く売れる一つの要素だと思っておりますので、申し添えておきたいと思	【経済部長】職員向けに箱買いをぜひしてほしいということで、全職員向けの掲示板を通じて、各所属長も含めてお願いをしています。それで、一定程度の成果も上がってきていますので、これからより強く、販売を促進していきたいと思っております。

<p>保健福祉部</p>	<p>ます。</p> <p>老節布の畑と山に囲まれた土地で育ってきました。保育所も山と畑に囲まれた場所で、農家だったので、朝8時から夕方だと4時5時までは保育所にいました。自然の中で、私は伸び伸びと成長してきました。私の子どもにも、やっぱりその自然環境の整ったところで、塀や柵、建物に囲まれたちょっと窮屈に思うようなところではなく、広々とした土地の中で、子どもにも育ててほしいと思っています。老節布はへき地ですけども、3世代交流も普通に教育課程の中で、老人クラブの方たちと餅つき大会や古くからの遊びを教えてもらうような交流もありました。そういう交流の場は、市街地に建てる前提でなくても、どこに建ててもそういう交流はできると思うので、どうかその辺も検討して、子どもたちが伸び伸びと健全に成長できる環境を整えてください。</p>	<p>【副市長】ご意見ということによろしいですか。ありがとうございます。</p>
--------------	--	--